
『大原社会問題研究所雑誌』2008年度総目次

- (1) 『資料室報』第1号～『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次については、2008年10・11月号（No.599・600）を参照されたい。
- (2) なお、大原Webサイト (<http://oisr.org/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web上での公開を行っている。

【2008年4月号 No.593】

【第20回国際労働問題シンポジウム】持続可能な企業の振興——企業の社会的責任／企業の人材育成と活用

特集にあたって 鈴木 玲

2007年のILO第96回総会について 長谷川真一

講演：持続可能な企業の振興をめざして マイケル・エンリケス／鈴木玲訳・ILO駐日事務所監訳

政府の立場から 武田康祐

労働者の立場から 成川秀明

使用者の立場から 高澤滝夫

ILO『レポート』と日本 谷本寛治

質疑応答

参考資料 ILO駐日事務所訳「持続可能な企業の振興に関する決議（Resolution concerning the Promotion of Sustainable Enterprises）」

証言：日本の社会運動 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（上）——増山太助氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 吉田誠著『査定規制と労使関係の変容——全自の賃金闘争と日産分会の闘い』 遠藤公嗣

楊慶敏・三輪宗弘著『中国のエネルギー構造と課題——石炭に依存する経済成長』 大平佳男

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 地域労働運動の日米比較 鈴木 玲

所 報 2007年12月

【2008年5月号 No.594】

【特集】「ワーク・ライフ・バランス」論と家族政策の現状

福祉国家と家族政策の「主流」化——「ワーク・ライフ・バランス」の論理とジェンダー平等
原 伸子

アメリカにおける養育費政策の現状とその作用 下夷美幸

ワーク・ライフ・バランスの基本原則——育児と雇用の両立をめぐるスウェーデン法の発展を
素材として 両角道代

証言：日本の社会運動 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（中）——増山太助氏に聞く 吉田健二
読書ノート 金谷信子著『福祉のパブリック・プライベート・パートナーシップ』を読んで 粕谷信次
書評と紹介 五十嵐仁編『「戦後革新勢力」の源流——占領前期政治・社会運動史論1945～1948』 広川禎秀
脇田滋著『労働法を考える——この国で人間を取り戻すために』 芹沢寿良
松為信雄・菊池恵美子編著『職業リハビリテーション学 [改訂第2版] ——キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系』 山田雅穂
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2008年1月

【2008年6月号 No.595】

【特集】ポスト体制移行期におけるコーポラティズムの可能性

特集にあたって 上谷直克
戦略的行動としての「社会的協調」——現代スペインにおける労働政治の変容とその意味
横田正顕
大きな取引と小さな取引——韓国と台湾における新たなコーポラティズム 上村泰裕
国家コーポラティズム（論）の呪縛？——「民主化」以後のラテンアメリカにおける政・労・使関係の軌跡 上谷直克
EU-8の社会協議システム——政党政治の視点からの分析 仙石 学
書評と紹介 平沼高・佐々木英一・田中萬年編著『熟練工養成の国際比較——先進工業国における現代の徒弟制度』 木下 順
中澤正夫著『ヒバクシャの心の傷を追って』 野田正彰
美馬達哉著『〈病〉のスペクタクル——生権力の政治学』 野村一夫
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 鈴木茂三郎文庫整理の現状——目録作成に向けての作業報告 松尾純子
所 報 2008年2月

【2008年7月号 No.596】

論 文 労働運動の夜明に——労働者状態論争と横山源之助 立花雄一
史料紹介 在米片山潜が発行した『平民』について——総目次と発見された第13号 田村貞雄
論 文 韓国における大卒ホワイトカラーのキャリア管理と早期退職——財閥系列企業S化学の事例
佐藤静香
証言：日本の社会運動 日本ジャーナリスト連盟の結成と新聞単一（下）——増山太助氏に聞く 吉田健二
書評と紹介 樋口直人・稲葉奈々子・丹野清人・福田友子・岡井宏文著『国境を越える——滞日ムスリム移民の社会学』 小島 宏
石井知章著『中国社会主义国家と労働組合——中国型協商体制の形成過程』 丸川知雄
黒川みどり編著『〈眼差される者〉の近代——部落民・都市下層・ハンセン病・エスニシティ』
與那覇潤

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 新憲法制定期の『夕刊京都』——同志社アカデミアの政論紙 吉田健二
所 報 2008年3月

【2008年8月号 No.597】

論 文 公的職業紹介におけるマッチング効率の収斂性分析——就職率と充足率に注目して 周 燕飛
非正社員の活用が企業内訓練に与える影響——企業・就業者双方の視点から 安田宏樹
知的障害者の職務遂行能力の向上における企業内援助者の役割 青木律子
年次有給休暇に関する法知識の所在と機能 高橋康二
書評と紹介 レジーム分析は否定されたか？ 武川正吾著『連帯と承認——グローバル化と個人化のなかの
福祉国家』に寄せて 新川敏光
秋山智久著『社会福祉専門職の研究』 福山和女
木村和世著『路地裏の社会史——大阪毎日新聞記者 村嶋歸之の軌跡』 梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 産業福利協会と協調会産業福利部の活動について 梅田俊英
所 報 2008年4月

【2008年9月号 No.598】

【特集】協調会『産業福利』復刻記念号

協調会史における「産業福利部」の位置 高橋彦博
協調会産業福利部と『産業福利』について 梅田俊英
『産業福利』第1巻について——誰が誰に何を書いたか 堀口良一
蒲生俊文の「神国」観と戦時下安全運動——戦争遂行と安全確保の結節点 横関 至
書評と紹介 永野秀雄著『電磁波訴訟の判例と理論——米国の現状と日本の展望』 小幡雅男
飯吉弘子著『戦後日本産業界の大学教育要求——経済団体の教育言説と現代の教養論』
江頭説子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 非正規労働と労働条件保護 永田 瞬
所 報 2008年5月

【2008年10・11月号 No.599・600】

【特集】非正規労働に関する政策提言

全員参加の社会に向けて——ジェンダー平等・公正な処遇の実現のために 堀内光子
人権問題になった非正規労働とその撤廃に向けて 脇田 滋
労働の商取引化に対応した法見直しを——労働者派遣法改正を問う 中野麻美
<非正規>問題と社会変革——19世紀的状况における労働組合の役割 龍井葉二
外国人研修生・実習生制度の抜本改善を 小田川義和

講演 会社共同体のゆくえ 稲上 毅

書評と紹介 上田眞士著『現代イギリス労使関係の変容と展開——個別管理の発展と労働組合』 小笠原浩一
 石塚史樹著『現代ドイツ企業の管理層職員の形成と変容』 久本憲夫
 朴貞蘭著『韓国社会事業史——成立と展開』 沈 潔
 Bill Fletcher, Jr., Fernando Gapasin, *Solidarity Divided : The Crisis in Organized Labor and A
 New Path Toward Social Justice* 鈴木 玲

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 月例研究会 社会学の領域・再論——社会学テキストをめぐる 野村一夫
 所 報 2008年6・7月
 600号記念特別附録『資料室報』～『大原社会問題研究所雑誌』総目次

【2008年12月号 No.601】

論 文 私の調査実践と生活小史法——トヨタ戦没世代の「会社人間化」 辻 勝次
 正規と非正規の就業形態およびその賃金格差の要因に関する日中比較（上） 馬 欣欣

研究回顧 社会経済・労使関係の実証研究（上） 小林謙一

証言：日本の社会運動 『民衆新聞』の主筆として（上）——砂間一良氏に聞く 吉田健二

読書ノート 経営者の立場からの基本所得の構想——ゲッツ・W.ヴェルナー著／渡辺一男訳／小沢修司解題
 『ベーシック・インカム——基本所得のある社会へ』を読む 成瀬龍夫

書評と紹介 小倉一哉著『エンドレス・ワーカーズ——働きすぎの日本人の実像』 水野谷武志
 小杉礼子編『大学生の就職とキャリア——「普通」の就活・個別の支援』 永野 仁
 福原宏幸編著『社会的排除／包摂と社会政策』 深井英喜

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
 月例研究会 農民運動「右派」指導者平野力三の戦中・戦後——農地制度改革同盟での活動を中心に
 横関 至
 所 報 2008年8月

【2008年特別号 No.602】

【投稿論文特集】

事業再構築におけるドイツ管理層職員の俸給構造の変動——BASF社の事例 石塚史樹
 経営危機における労使関係の諸相——佐世保重工争議前の労使交渉の考察を通じて 鈴木 博
 ネオリベリズムと市民活動／社会運動——東京圏の市民社会組織とネオリベラル・ガバナンスをめぐる実証分析 丸山真央・仁平典宏・村瀬博志
 植民地期朝鮮におけるマルクス主義伝播 1920～1921 小野容照
 正規と非正規の就業形態およびその賃金格差の要因に関する日中比較（下） 馬 欣欣

【2009年1月号 No.603】

【特集】大原社会問題研究所蔵 幸徳秋水・堺利彦『共産党宣言』の意義

- 幸徳秋水/堺利彦訳『共産党宣言』の成立・伝承と中国語訳への影響 大村 泉
『共産党宣言』邦訳史における幸徳秋水/堺利彦訳（1904, 1906）の位置 玉岡 敦
- 研究回顧 社会経済・労使関係の実証研究（下） 小林謙一
- 証言：日本の社会運動 『民衆新聞』の主筆として（下）——砂間一良氏に聞く 吉田健二
- 書評と紹介 埴橋孝文編著『ワークフェア——排除から包摂へ?』をめぐって 宮本太郎
五十嵐仁著『労働政策』 高橋祐吉
柳田勘次著『聞えなくなった企業別組合——企業別差別賃金と企業別組合の史的考察』
早川征一郎
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 「一斉授業」における相互行為の構造——「働くことの意味を考える」授業を通して 江頭説子
- 所 報 2008年9月

【2009年2月号 No.604】

【特集】労働者派遣の現状と改革の課題（1）

- 労働者派遣法の原点へ帰れ 高梨 昌
派遣労働は働き方・働かせ方をどのように変えたか——間接労働の戦後史をふまえて 伍賀
一道
- EU労働者派遣指令と日本の労働者派遣法 濱口桂一郎
- 論 文 韓国民主労組運動20年、産別労組建設運動の成果と課題（上） 林榮一／金元重訳
- 書評と紹介 丹野清人著『越境する雇用システムと外国人労働者』 宮島 喬
大沢真知子著『ワーク・ライフ・シナジー——生活と仕事の《相互作用》が変える企業社会』
永田 瞬
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 東アジア地域におけるエネルギー資源・電気事業・再生可能エネルギーに関する考察 大平佳男
- 所 報 2008年10月

【2009年3月号 No.605】

【特集】労働者派遣の現状と改革の課題（2）

- 派遣法改正にあたっての提言——厚生労働省「今後の労働者派遣制度の在り方に関する研究会
報告書」（2008年7月28日）を中心にして 大橋範雄
労働者派遣（法）の構造と機能——施行から今日までを振り返って 長井偉訓
請負労働者組合運動における既存労働組合の影響——自動車部品メーカー・アイズミテック社
の事例をもとに 伊藤大一
- 論 文 韓国民主労組運動20年、産別労組建設運動の成果と課題（下） 林榮一／金元重訳
- 書評と紹介 Mire Koikari 著 *Pedagogy of Democracy: Feminism and the Cold War in the U.S. Occupation of
Japan* 豊田真穂
嶺学編著『高齢者の住まいとケア——自立した生活、その支援と住環境』 岡本祥浩

月例研究会 重度障害者の雇用を拡大する政策の在り方に関する一考察——特例子会社および福祉工場の調査を通して 山田雅穂
所 報 2008年11月

訂正とおわび

本誌2008年10・11月号, No.599・600の『資料室報』～『大原社会問題研究所雑誌』総目次のうち, 2008年9月号, No.598目次に, 掲載されていない書評: 「上西充子著『大学のキャリア支援-実践事例と省察』梅本裕」が記されておりました。編集部へのミスにつき, 謹んでおわび申し上げます(本誌編集部)。

●世界的規模で展開される寡占的大競争段階下の労働編成
木村保茂・藤澤建一・永田萬享・上原慎一著 A5判・三二〇頁・五四六〇円(税込)

鉄鋼業の労働編成と能力開発
成熟段階に入った我が国鉄鋼業の日本的労働編成・能力開発の特徴と到達点を製鉄所のリストラ・合理化との関わりで解明。
序章 研究の目的と調査の課題
1章 鉄鋼業の合理化と労使関係
2章 本工の労働と能力開発
3章 保全工の労働と能力開発
4章 人事・処遇制度の再編成と能力主義の強化
5章 社外企業における労働編成と労働の特徴
上原慎一 藤澤建一 永田萬享 木村保茂

●全社会的福祉のなかの介護福祉と居住福祉
嶺学編著 A5判・三三〇頁・四四一〇円(税込)

高齢者の住まいとケア——自立した生活、その支援と住環境
(安心ハウス構想)ケアリビングなど高齢期の生活基盤である住まいとケアについて、制度や実態を分析し課題を探る。
●ニューカマー外国人の活動と行政を主とした地域社会の対応
神奈川大学人文学研究所編(研究叢書24) A5判・二六〇頁・四八三〇円(税込)

在日外国人と日本社会のグローバル化
フジテレビ人在日リリアン、在日中国人、日系ラジール人など、在日外国人の出身国社会や、横浜地域での仕事と生活の実態を分析。
●中国のコーポラティズムと労働組合
石井知章著 A5判・五〇四頁・八一九〇円(税込)

中国社会主义国家と労働組合——中国型協商体制の形成過程
労働組合(工会)を媒介にした政治協商体制をとりまく政治構造の全体像を国家と社会との関係論として初めて描き出す。
●中国・深圳大学経済特区研究センターとの共同プロジェクト
熊本学園大学附属海外事情研究所編 A5判・二七〇頁・六九三〇円(税込)

日中両国の政治・社会・経済的諸課題
両国政府の地方行政、産業構造、金融制度改革、公会計改革、高齢者介護、地域福祉、社会保障制度、医療保険制度などを実態分析。
●ハート労働者の組織拡大の取り組みとその成果を検証!!
鈴木玲・早川征一郎編著 A5判・三二二頁・四四一〇円(税込)

労働組合の組織拡大戦略
組合員の減少を食い止めるための戦略を検証。兵頭淳史・山垣真浩・浅見和彦・松尾孝・長谷川義和・斎藤力・長崎登記夫・内藤直人執筆
●二〇〇七年度 経済統計学会研究奨励賞受賞
水野谷武志著 A5判・三六〇頁・五四六〇円(税込)

雇用労働者の労働時間と生活時間——国際比較統計とジェンダーの視角から
仕事と生活のバランスを保ちつつ男女が共同参画できる社会をつくり実現するか、時間の側面から労働と生活を総合的に捉える二つの統計的分析。

御茶の水書房 〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 Tel.03-5684-0751
ホームページ <http://www.ochanomizushobo.co.jp/>